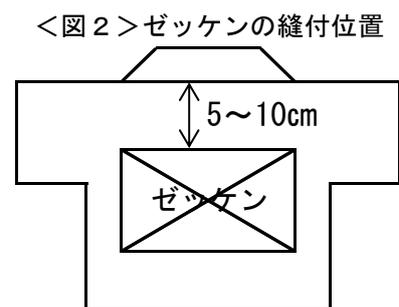
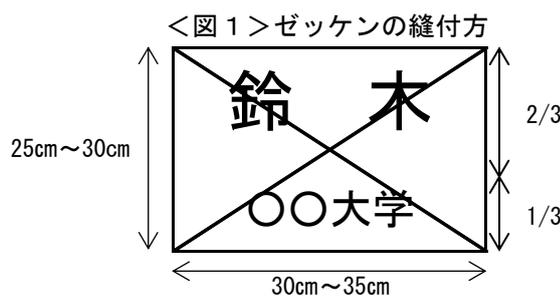


令和6年 東京都女子柔道体重別選手権大会（第30回） 要項

1. 主催 公益財団法人 東京都柔道連盟
2. 日時 令和6年5月19日（日） 開会式 午前9時30分
3. 会場 講道館 新館7階 大道場  
〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 道場受付 TEL 03-3818-4893
4. 参加資格 (1) 体重区分は次の7階級とする。  
① 48kg級 ② 52kg級 ③ 57kg級 ④ 63kg級  
⑤ 70kg級 ⑥ 78kg級 ⑦ 78kg超級  
(2) 選手は、東京都内に在住・在勤・在学していることのいずれかにより東京都柔道連盟を通して、全日本柔道連盟に登録をしている者。
5. 試合方法 体重別各階級ごとに、トーナメント戦による。
6. 審判規程 (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規程による。  
(2) 試合時間は4分間とする。  
(3) 勝敗の判定基準は、「一本」と「技有」のみとする。  
「技有」2つで「合技一本」とする。  
(4) 抑え込みは、10秒で「技有」、20秒で「一本」とする。  
(5) 直接もしくは累計による「反則負け」を除き、「指導」（1回目、2回目）の違いだけでは勝者は決定しない。  
(6) 規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、その試合はゴールデンスコアに突入する。  
ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。  
ゴールデンスコアにおいては、スコア又は「反則負け」によってのみ勝負が決まる。
7. 表彰 各階級の優勝者・準優勝者・3位(2名)を表彰する。  
ただし、出場選手数により変更する場合がある。
8. 参加申込 (1) 申込締切 令和6年4月15日（月）  
(2) 申込方法 Googleフォームによる申し込みとする（個人での申し込みは不可とする）  
申込み用アドレス：<https://forms.gle/ceUHtbUUzaRvJwrZ7>  
\* 都柔連より申込完了メールおよび注意事項を送信します。迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合は「@gmail.com」を受信設定してください。  
(3) 参加費用 1人 3,000円  
※大会当日、申込み団体ごとに請求書をお渡しいたします。なお、組合せ後の欠場については参加費を請求させていただきます。ご了承下さい。  
(4) 問合せ先 (公財)東京都柔道連盟 事務局(担当：佐々木) 03-3818-5639 / 080-3487-8054
9. 組合わせ 令和6年4月19日（金）15時 東京都柔道連盟事務所において主催者が行う。
10. 保険 (1) 主催者が、参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。  
尚、万一の事故発生に備え、参加者各人が別途傷害保険に加入するなどして万全の事故対策をたてておくこと。  
(2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。  
(3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。

11. その他
- (1) 本大会の成績を国民体育大会 女子選手の選考資料とする。
  - (2) 体重測定は、令和6年5月18日（土）16時30分～17時30分に講道館新館2階教室において、全階級おこなう。（非公式計量は、16時00分～16時30分）
  - (3) 大会申し合わせ事項により、試合が続く場合のインターバルは「4分間」とする。
  - (4) ゼッケンについて
    - ①参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。
    - ②所属名は、全日本柔道連盟に登録した団体名とする。
    - ③ゼッケンを取付けていない選手は、出場できない。
    - ④広告付きゼッケンは不可とする。
    - ⑤ゼッケンの仕様と縫い付け方
      - サイズは、横30cm～35cm・縦25cm～30cm      ○布地は白色（晒・太綾）
      - 書体は太いゴシック体又は明朝体で横書きとし、濃赤色。
      - 苗字（姓）は上側2/3、所属名は下側1/3
      - 縫い付けの位置は、後ろ襟から5cm～10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫いつける



- (5) 大会を欠場する選手は必ず医師または柔道整復師の証明書を主催者に提出するものとする。
- (6) 脳震盪対応について
  - ジュニア(20歳未満)以下の選手および指導者は下記事項を遵守すること。
  - ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ②大会中、脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
  - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。
- (7) 監督・コーチは、審判員に準じた服装(ジャケット・Yシャツ・ネクタイ・スラックス)を基本とする。女性はブラウス等でも可。また、ネクタイは不要。
- (8) 個人情報、肖像権の取り扱いについて
 

下記項目について、申込書の提出をもって了承されたものとし取扱い致します。

参加申込書に記載された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・都柔連ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合があります。大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用される場合があります。